

令和6年度 福井県介護職員負担軽減支援事業補助金（障がい福祉分野）（令和5年度 第二次補正予算分）を利用し、排泄支援ロボット「介護用トイレ ラップボン・プリート」を導入しました。 利用者支援の向上、職員の業務負担軽減に役立っています。

納入日：令和 6年 7月24日（木）

納入場所：九頭竜ワークショップ いずみの郷

納入品名：介護用トイレ ラップボン・プリート

納入台数：4台

納入物品



事業名	令和6年度 福井県介護職員負担軽減支援事業補助金（障がい福祉分野）（令和5年度補正）
納入日	令和 6年 7月25日（木）
納入場所	九頭竜ワークショップいずみの郷
納入品名	介護用トイレ ラップボン・プリート
納入台数	4台
備考 (附属品等)	別添品 フィルムカセット タイプ3 4巻 カタンメグ 社会福祉法人 九頭竜厚生事業団

操作説明



(別紙)

障害福祉分野のロボット等導入支援事業(令和5年度補正予算分) (施設等に対する導入支援分) 事業報告書

※導入機器ごとの効果や目的等を把握するため、導入機器ごとにそれぞれ作成してください。(一体的に利用している機器を除く)

自治体名 福井県

【基本情報】

フリガナ	シャカイフクシホウジン クスリュウコウセイジキョウダン
法人名	社会福祉法人 九頭竜厚生事業団
フリガナ	クスリュウワーグショップ イズミノト
事業所名	九頭竜ワークショップ いずみの郷
施設・事業所種別 (指定を複数受けている場合は、補助上限額を適用する施設・事業所を選択)	障害者支援施設
職員数(常勤換算数) 【「従事者の1ヶ月の勤務時間」/「事業所等が定めている、常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数 × 4(週)」にて算出(産休・育休、休職は除く)】	26.7 人

(1) 主な導入機器内容(種別・機器名等)

機器の種別: 移乗介護 排泄支援 入浴支援
 移動支援 見守り・コミュニケーション

機器名(導入台数) 自動ラップ式トイレ 4台

(2) ロボット機器等導入前の定量的指標及びロボット機器等導入後の定量的指標

① ロボット機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	A.業務従事者数	発生件数		D.1件当たりの平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり業務時間(C×D/A)	
		B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)				
直接介護	13人	1 移動・移乗・体位変換	0件	0分	0人時間	#DIV/0!	
		2 排泄介助・支援	60件	720分	30分	4,680人時間	28時間
		3 生活自立支援(※1)	0件	0分	0人時間	0人時間	#DIV/0!
		4 行動上の問題への対応(※2)	0件	0分	0人時間	0人時間	#DIV/0!
		5 その他の直接介護	0件	0分	0人時間	0人時間	#DIV/0!
間接業務		6 巡回・移動	0件	0分	0人時間	#DIV/0!	
		7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)	0件	0分	0人時間	0人時間	#DIV/0!
		8 見守り機器の使用・確認	0件	0分	0人時間	0人時間	#DIV/0!
		9 その他の間接業務	0件	0分	0人時間	0人時間	#DIV/0!
		60件	720分	30分	4,680人時間	#DIV/0!	

※1 入眠起床支援、利用者とのコミュニケーション、訴えの把握、日常生活の支援
 ※2 徘徊、不潔行為、昼夜逆転等に対する対応等
 ※3 利用者に関する記録等の作成、勤務票等の作成、申し送り、文書検索等

以下の※1及び※2については、ロボット機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>B.ひと月当たり発生件数の算出方法

夜間のみホータルトイレを設置する利用者様 2名 × 30日 = 60件/月

<※2>D.1件当たりの平均処理時間の算出方法

排泄後の処理(5分) + 清掃(10分) + 乾燥・拭きあげ(10分) + 再設置(5分) = 30分/件

② ロボット機器等導入後の業務時間内訳

業務内容	A.業務従事者数	発生件数		D.1件当たりの平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり業務時間(C×D/A)	
		B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)				
直接介護	13人	1 移動・移乗・体位変換	0件	0分	0人時間	#DIV/0!	
		2 排泄介助・支援	60件	720分	10分	1,560人時間	9時間
		3 生活自立支援(※1)	0件	0分	0人時間	0人時間	#DIV/0!
		4 行動上の問題への対応(※2)	0件	0分	0人時間	0人時間	#DIV/0!
		5 その他の直接介護	0件	0分	0人時間	0人時間	#DIV/0!
間接業務		6 巡回・移動	0件	0分	0人時間	#DIV/0!	
		7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)	0件	0分	0人時間	0人時間	#DIV/0!
		8 見守り機器の使用・確認	0件	0分	0人時間	0人時間	#DIV/0!
		9 その他の間接業務	0件	0分	0人時間	0人時間	#DIV/0!
		60件	720分	10分	1,560人時間	#DIV/0!	

以下の※3及び※4については、ロボット機器等導入後の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※3>B.ひと月当たり発生件数の算出方法

夜間のみホータルトイレを設置する利用者様 2名 × 30日 = 60件/月

<※4>D.1件当たりの平均処理時間の算出方法

排泄後の廃棄(5分) + 再設置(5分) = 10分/件

年間業務時間数想定削減率(%)

66.7%

(3)削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。

排泄後の処理、清掃・乾燥が不要になり時短に繋がっている。

(4)ロボット機器等の導入により得られた効果

直接排便、排尿に触れる事がなくなり、感染症などの2次感染も防ぐことが出来ているので、職員も安心して業務にあたっている。

居室内の臭気も以前よりは改善できている。

(5)今後の課題

ラップや吸収剤の購入など経費が増加している。

(6)気づき等について

日中、居室から別場所へ移動する際、ポータブルトイレ自体の重量が重たいので、力が必要。

ラップの交換は特定の職員しか行えていない。

(7)費用面での効果(ロボット機器等の導入による費用の削減の有無を必ず選択すること。)

ロボット機器等の導入による費用の削減	無
--------------------	---

ロボット機器等の導入による費用の削減が「有」の場合、以下を回答すること。

削減額(円/月)	
職員の質上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当(※1)	
サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	

(※1)その他職場環境の改善の具体的な内容について記載すること。

(※2)サービスの質の向上に係る取組の具体的な内容について記載すること。